



研究キーワード

リアリティ・ショック, ワーク・ライフ・バランス

中島 智子

NAKAJIMA, Satoko

准教授

所属…経営学部 経営学科

経営学部

Profile

■主な担当科目 経営学入門, 経営組織論 1・2

■研究者略歴

2004 (平成16) 年 3月	立命館大学国際関係学部国際関係学科卒業 学士 (国際関係学)
2006 (平成18) 年 3月	立命館大学大学院国際関係研究科博士前期課程国際関係学専攻修了 修士 (国際関係学)
2006 (平成18) 年 4月	大阪電気通信大学専任事務職員 (～2022年3月)
2015 (平成27) 年 9月	兵庫県立大学大学院経営研究科専門職学位課程経営専門職専攻修了 経営管理修士 (専門職)
2021 (令和 3) 年 3月	兵庫県立大学大学院経営学研究科博士後期課程経営学専攻修了 博士 (経営学)
2021 (令和 3) 年 4月	兵庫県立大学国際商経学部客員研究員 (～2022年3月)
2022 (令和 4) 年 4月	函館大学商学部商学科専任講師
2024 (令和 6) 年 4月	函館大学商学部商学科准教授
2025 (令和 7) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授

Research

■取得学位 博士 (経営学) (兵庫県立大学)

■専門分野 経営組織論, 人的資源管理論, 組織行動論

■現在の研究テーマ ・若年層のリアリティ・ショックに関する研究
・若年層のワーク・ライフ・バランスに関する研究

■所属学会 日本経営学会, 日本労務学会, 経営行動科学学会

Data

■研究等活動

【論文】

- ・「ワーク・ライフ・バランス施策が私生活満足に与える影響」, 2024年, 昇格審査論文, (函館大学)
- ・「リアリティ・ショックによる離職意思の緩和に関する研究」, 2021年, 博士論文 (兵庫県立大学)
- ・「リアリティ・ショックによる離職意思の緩和のための生活満足の影響」, 2021年, 星陵台論集 第53巻2号
- ・「リアリティ・ショックの緩和」, 2019年, 星陵台論集, 第51巻3号
- ・「リアリティ・ショック研究の進展と課題」, 2017年, 星陵台論集, 第50巻2号
- ・「若年者の離職に関する一考察—自己効力感研究の視点から—」, 2015年, 商大ビジネスレビュー第5巻1号, 専門職学位論文 (兵庫県立大学)

【学会発表】

- ・「ワーク・ライフ・バランス施策が若年層の私生活満足に与える影響」(共同発表 千田直毅・三崎秀央), 2024年, 経営行動科学学会全国大会
- ・「ワーク・ライフ・バランス施策が生活満足に与える影響」2022年, 日本経営学会全国大会
- ・「ワーク・ライフ・バランス施策が生活満足に与える影響」2022年, 日本経営学会関西西部会
- ・「リアリティ・ショックによる離職意思に対する生活満足の影響」2021年, 日本労務学会全国大会
- ・「リアリティ・ショックの緩和に関する実証分析」2020年, 日本労務学会関西西部会

【その他】

- ・函館新聞 函館大学講座「若年就業者の組織定着について」, 2025年
- ・函館新聞 函館大学講座「地域中小企業の海外進出について」, 2022年

【外部資金獲得】

- ・科研費 (若手研究) 「リカバリー経験がワーク・エンゲイジメントに与える影響」(代表者), 2025～2027年度

■社会貢献活動

- ・2024年4月～2026年3月 経営行動科学学会, 編集委員 (運営担当)
- ・2024年4月～2025年3月 函館市空家等対策協議会委員
- ・2023年4月～2025年3月 函館市指定管理者候補者選定委員会 外部委員
- ・2023年4月～2025年3月 市立函館病院地域医療支援病院運営委員会委員
- ・2024年9月 キャンパスコンソーシアム函館 合同公開講座 函館西高校「経営学入門 モチベーションを考えよう」講義
- ・2024年11月 函館大学講座「若年就業者の組織定着について」講演
- ・2025年3月 函館中央警察署「若年職員の離職防止について」講演